

横浜市民ミュージカルでの名演技が定評の二宮恭さんが映画「横浜を創った男」を多くのスタッフと共に制作され、無料で見て頂きたいといわれ、シルクセンターの会議室で上映会が催されました。主人公の高島嘉右衛門に関心ある人が多く、当日は各回共に満席になっていました。この映画の後半の第2弾の上映会を会場の皆さまと約束し終えられました。

偶々「高島嘉右衛門」の稼業が私の父と同じだったこともあり、ごどもの頃から興味があり、彼の生き方に惹かれ、印象的な史実の記憶が、私の今に繋がっているほどです。私の愛読書に少年倶楽部という雑誌があり、高島嘉右衛門の伝記が数ヶ月間続きました。その冒頭に安政の大地震の数日前に空釜が鳴ったという記述がありました。これは地震や津波の前兆と言われているそうです。「大地震が起こる」と嘉右衛門は予知したのです。当時の材木屋は注文があつて製材するまで原木を川や自分の貯木地に浮かせておくのが普通です。丸太というのはそのまま野積みしておく乾燥して割れたり曲がったりするからです。嘉右衛門は江戸にいる知り合いの殿様・佐賀様に話をし、小判を多額に借り、材木屋の原木を買い集め、そして自分の貯木池に浮かせ縄でつなぎ岸にしっかりと止めました。予知した地震が来ても嘉右衛門の貯水池の原木は無事でしたが、他の材木屋の原木は皆流れ去ってしまったのです。多くの家が流されたり、倒壊したり、大火で焼失し、庶民達はその日から住むところもありません。彼が大金持ちになるには時間は要りませんでした。集まった小判は千両函に入れて自分の家の井戸に投げ込んだのです。それは人に気付かれず安全な場所でした。そして実業家となるのですが、外国人相手に小判を密売した罪で1960年に一度目の入獄するのですが、その5年間に幼いころから学んだ易学の研究を深めるのでした。

その後、横浜発展のため偉業を次々に成し遂げていくのです。東京横浜間の鉄道を引くための難所の土地を埋め立てをしたり、また外国勢にとられようとしたガス会社を取り戻し、日本で初めてのガス会社を1872年に創設したのです。また、ガス灯を利用した芝居小屋・港座を同年に開設しています。今の本町小学校はガス灯工場跡地にあり、ガス灯が保存されています。校門にその記念碑があります。少し遡り1867年には尾上町に「高島屋」を建設し(※デパートの高島屋とは関係ないとのこと)外国人を受け入れて政府高官との社交場としたのです。高島屋の常連に伊藤博文、大隈重信らがついて鉄道の敷設は必ず富国の基礎を成すと話し、実現したといえます。1871年には、英仏独の3カ国語の語学を学ぶ通称「高島学校」を創設し、貧しい学生には経済的援助をしたといえます。その他公使館の建築工事や下水改良工事、そして北海道炭鉱鉄道、拓殖事業、愛知セメントを興し、東京市鉄道、帝国貯蓄銀行開業などに関わっていくのです。自分のものとした占いは的中率抜群であると国内外の高官にも評判であったといえます。仲の深い伊藤博文が朝鮮に行くことに反対し、「安」という字のついた者には必ず殺されるから行くな」と止めたのですが、行ってしまいその通りになってしまったのです。1909年10月26日のことでした。また、嘉右衛門は自分の死ぬ日(1914年10月16日)を言い当てたといえます。黙って座ればヒタリと当たるといわれる彼の著書に『高島易断』という易学のバイブルがあります。すべてのことが見事に計算で



5月5日(金・祝)「こどもの日コンサート」横浜MM大ホール ゲネプロ風景

第61回いそご文化資源発掘隊
『赤い靴』と『青い目の人形』
2つの童謡が繋ぐ横濱物語
パート2
～赤い靴、異国の地へ～
ゲスト：松永 春
5/17(水) 杉田劇場 4F コスモス 14時～

第36期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
開催日：6月25日(日) 14:00 開演
会場：杉田劇場 / 全員ご招待！
観覧ご希望の方は上記赤い靴事務局まで
事前申し込みが必要です。



きる横浜の先人・高島嘉右衛門は私が最も尊敬する人です。かつて「キリシタンの魔法」という横浜市民ミュージカル公演を2度いたしました。大変評判が良かったのです。因みにタイトルの「キリシタンの魔法」は原案と共に私が考えたのです。当時の人々が初めてガス灯を見た時の驚きと喜びをこの言葉に託しました。2008年に初めて「キリシタンの魔法」の公演をしたところが高島町です。嘉右衛門が望んだ自分の名前のついた場所です。ところが公演当日は朝から快晴であつたにも拘わらず天候が急変し、開演近い頃に強い風が吹き荒れ東横線が止まってしまったのです。天上の高島嘉右衛門が怒ったのか喜んだのか、今でも不思議に思う出来事でした。

さて、5月3日には横浜開港記念祭りと「ザよこはまパレード」がありました。1952年から始まった歴史の中で、赤い靴ジュニアコーラスの団員が市長さんとオープンカーに乗ったり、赤い靴ダンスキッズが「相鉄エクスプレス」のテーマでフロートの上や地上で踊ったりしました。また横浜市民ミュージカルの出演者が船のフロートと地上で「おさん伝説」を音楽とダンスで演じたこともありました。毎回シルクセンター側の場所から、始めから最後まで全てを見て、パレードの中に顔見知りを見つけて応援することも楽しみのひとつで、いつの間にかこの日の過ごし方になっています。

横浜みなとみらいホール主催の5月5日の「こどもの日コンサート」は、赤い靴ジュニアコーラスの新小学4年生のデビューのステージです。この3年間はコロナ禍のため生演奏が出来ず、コーラスの関係者にとっては待ち遠しくやつと実現できた今年のコンサートでした。久々の横浜少年少女合唱団と神奈川フィルハーモニーとの共演は大ホールに美しく響き、多くの観客を感動させてくれました。第36期定期演奏会が近い中で、団員も先生も二頭立ての稽古は大変だったと思いますが、今年のごどもの日は、自他共への最高のプレゼントになったのではないかと思います。

そして先月号で触れましたが、今年は赤い靴の「うらしま年」です。ジュニアコーラスの定演でも演奏されますが、横浜市民ミュージカルでも「横浜うらしま伝説」のタイトルで公演をします。公演に向けて熱心な稽古が始まっていますが、それぞれの仕上がりを楽しみしています。

令和5年5月15日 (4月30日発行分) 団長 松永 春

今後のスケジュール

- ★5/17(水)
第61回いそご文化資源発掘隊
「赤い靴」と「青い目の人形」2つの童謡が繋ぐ横濱物語パート2
～赤い靴、異国の地へ～
ゲスト：松永 春
場所：杉田劇場 4F コスモス
時間：14:00 開演 (13:30 開場)
料金：1,000円
- ★6月25日(日)
第36期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
場所：杉田劇場
時間：14:00 (開演予定)
観覧：全員ご招待(事前申込制)
- ★7月30日(日)
中区ダンスフェスティバル2023
場所：関内ホール・大ホール
時間：第一部 12:30～ 子ども中心
第二部 18:00～ 大人中心
料金：600円
- ★8/18(金)
「第17回東六忌」
会場：元町あかいくつスタジオ
ゲスト：野中 正
- ★8/26(土)・27(日)
横浜市民子どもミュージカル
場所：関内ホール・小ホール
時間：8/26 ①14:00 ②18:00
8/27 ③11:00 ④15:00
料金 一般 2,500円
高校生以下 1,300円